

資料 6

国際資本市場協会（ICMA）共催
「グリーン／ソーシャルボンド・コンファレンス」等の
模様について（速報版）



2020年11月
日本証券業協会



1. コンファレンス 概要

本協会では、グリーンボンド市場等の動向について日本市場関係者の理解を深め、日本市場の課題等を探る機会として、国際資本市場協会（ICMA）との共催で、グリーン／ソーシャルボンド・コンファレンスを開催した。

4 回目となる本年度は、コロナウイルス感染症の世界的な拡大を踏まえ、ソーシャルボンドに焦点を当てたコンファレンスを
実会場での開催に加え、オンラインでも参加可能とするハイブリッド方式により開催した。

日程	2020年11月13日（金） 16時00分～18時00分（日本時間）
タイトル	コロナ禍において重要性を増す持続可能性に貢献する債券市場の発展 – 世界及び日本の展望 「Developments in Bond Markets Contributing to Sustainability under COVID-19 – Globally and in Japan」
会場	太陽生命日本橋ビル 26階 及び ZOOMによるウェビナー
共催	国際資本市場協会（ICMA）（※）
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等 約 5 0 0 名 実会場参加者：約 7 0 名 オンライン参加者：約 4 3 0 名（アクセス数ベース）

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。

本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、これまでに5回、日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）を共催した



会場

1. コンファレンス 今回のポイント

- ESG投資の中では、従来より「E」、すなわち、気候変動への対応に関する議論が活発に行われてきているところ、コロナ禍を契機として「S」、すなわち、社会的課題に対する投資家の関心が一層高まっており、ソーシャルボンド市場は世界・日本において着実な拡大を見せている。
- これらを背景に、今回のイベントには、発行体、機関投資家、金融機関等から、実会場・オンライン合わせて約500名が参加し、GPIF宮園理事長を始めとする幅広い有識者が登壇した。
- コロナ禍に起因する様々な社会的課題の解決を図り、更なる持続的な成長を目指すべく、感染症への対応、持続可能な回復、SDGsに貢献する債券市場はますます重要となっているとの認識が、機関投資家、発行体、政府機関等それぞれの視点及び取り組みから共有された。
- また、それらの債券を促進するためのラベリング、保証、インパクト評価についても、主催者であるICMA、格付機関、政府、機関投資家の立場から活発に議論が交わされた。

1. コンファレンス プログラム

16:00	歓迎・開会の挨拶 日本証券業協会 会長 鈴木 茂晴
16:05	ゲストスピーチ1 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF） 理事長 宮園 雅敬 氏 ゲストスピーチ2 ドイツ連邦銀行 理事会メンバー サビーネ マウデラー 氏
16:25	パネル 1: COVID-19への対応、持続可能な回復、SDGsに貢献する債券市場の状況及び見通し Market Overview of Bonds Contributing to Responses to COVID-19, Sustainable Recovery, and the SDGs モデレーター：BofA証券取締役副社長 日本証券業協会 SDGs懇談会委員 林 礼子 氏 パネリスト：欧州安定メカニズム CFO カリーン アーネブ ヤンセ 氏 国際金融公社 VP 財務担当 ジョン ガンドルフォ 氏 日本政策投資銀行 財務部長 品田 直樹 氏 アムンディ・アセットマネジメント フィクストインカム SRI プロセス ヘッド アルバン デ ファイ 氏
17:10	パネル 2: 持続可能性に貢献する債券を促進するためのラベリング、保証、インパクト評価 In Practice: Labelling, Assurance, and Impact Assessment to Promote Bonds Contributing to Sustainability モデレーター：世界銀行 財務局 駐日代表 有馬 良行 氏 パネリスト：ICMA マネージング・ディレクター EU TEG GBP/SBP/SLBP事務局 ニコラス ファフ 氏 金融庁 総合政策局CSO 池田 賢志 氏 Moody's SVP 戦 マルティーナ マクファーソン 氏 ブラックロック・ジャパン マネージング・ディレクター リー ヒースマン 氏
17:55	閉会挨拶 国際資本市場協会（ICMA） チーフ・エグゼクティブ マーティン・シェック
18:00	閉会

1. コンファレンス 当日の様子



1. コンファレンス 当日の様子 (Zoom)



1. コンファレンス 参考

◆ 人数

	2017年	2018年	2019年	2020年
セルサイド	124	207	192	174
バイサイド	55	66	92	88
発行体（事業会社、地方公共団体、 金融機関等）	58	83	155	181
業界団体	45	23	29	13
中央行政	12	15	16	52
シンクタンク	10	18	20	13
格付機関・外部レビュアー	14	20	20	18
情報ベンダー	7	4	14	7
メディア	11	16	33	22
駐日外国公館	0	16	9	18
その他	74	83	110	140
合計	410※1	551※1 (日本人483) (外国人68)	690※1 (日本人617) (外国人73)	726※2 (日本人420) (外国人316)

(※1 実会場参加者ベース)

(※2 実会場・オンライン登録者ベース（実会場参加者・オンラインアクセス数合計は約500名）)

1. コンファレンス 参考

これまでの開催

【2017年】



“グリーンボンド及び社会貢献債市場の発展-アジアの展望”

日 時：2017年11月2日（木）

場 所：虎ノ門ヒルズ森タワー5Fホール

参加者：アジアの発行会社、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関、
報道機関等 約400名

【2018年】



“グリーンボンド及びソーシャルボンド市場の発展-アジアの展望”

日 時：2018年12月11日（火）

場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約550名（昨年比約40%増）

【2019年】



“日本とアジアのグリーン、ソーシャル及びサステナビリティボンド市場の発展”

日 時：2019年10月9日（水）

場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約700名（前年比約30%増）

2. 研修コース 概要

グリーン／ソーシャルボンド・コンファレンスの前日には、発行体を対象としたセミナー「ソーシャル／サステナビリティ・リンク・ボンド エグゼクティブ研修コース」を開催した。

日程	2020年11月12日（木）16時30分～19時00分（日本時間）
タイトル	ソーシャル／サステナビリティ・リンク・ボンドエグゼクティブ研修コース 「Social and Sustainability-Linked Bonds Executive Training Course」
会場	ZOOMによるウェビナー
主催	国際資本市場協会（ICMA）
リード トレーナー	国際資本市場協会（ICMA） 市場慣行・規制政策 ディレクター バレリー・ギョマン 氏 サステナブルファイナンス ディレクター シモーネ・ユータマーク 氏
参加者	発行体、証券会社、外部レビュアー、投資家 等 計53名

2. 研修コース プログラム

16:30	歓迎の挨拶 ICMA 市場慣行・規制政策 ディレクター バレリー・ギョマン 氏 日本証券業協会 SDGs推進室長 森川 怜子
16:35	パート1：サステナビリティ・リンク・ボンド トレーナー： ICMA 市場慣行・規制政策 ディレクター バレリー・ギョマン 氏
17:00	休憩
17:10	パート2：ソーシャルボンド トレーナー： ICMA サステナブルファイナンス ディレクター シモーネ・ユータマーク 氏 ・ 市場概況 ・ ソーシャルボンド原則における4つの核 ・ 外部評価：一般的な紹介と概要 ING グローバルキャピタルマーケット アジア太平洋責任者 マネージングディレクター ヘルグ・マンケル 氏 ・ ソーシャルボンドケーススタディ（COVID-19含む）及び市場展望 ISSコーポレートソリューション VP サステナブルファイナンスビジネスマネージャー フェドリーコー・ペッツォラット 氏 ISSコーポレートソリューション ESGコンサルタント ダマーソ・ザガーグリア 氏 ・ ソーシャルボンドのための外部評価 ・ ソーシャルボンドのセカンドパーティオピニオン（SPO）に関する外部評価者によるプレゼンテーション

2. 研修コース 当日の様子（事務局）



本コースはZoomによる完全オンラインで開催した。ICMAによるリードトレーナーをはじめとし、講師は全て国外からのオンライン参加であったため、本協会8階会議室に通訳機能等を設け、遠隔でオペレーションを行った。

2. 研修コース 当日の様子 (Zoom)

ICMA バレリー・ギョマン 氏



ICMA シモーネ・ユータマーク 氏



ING ヘルグ・マンケル 氏



ISS
フェドリーコー・ペッツォラット 氏
ダマーソ・ザガーグリア 氏

